
環境方針

1. 環境課題への基本的な考え方

住友ゴムグループ(以下、私たち)は、企業理念体系である「Our Philosophy」(※ i)に定義した「未来をひらくイノベーションで、最高の安心とヨロコビをつくる。」をパーパスとしています。そしてこのパーパスを体現した事業活動を行うため、バリューチェーン全体のリスクと機会からマテリアリティを特定し、これらの取り組みを経営戦略に組み込み、社会課題の解決を目指すとともに、中長期的な企業価値の向上に努めます。

私たちは、自然環境に責任を持ったグローバル企業として、「気候変動」、「循環型経済」、「生物多様性」を環境に関するマテリアリティとしています。豊かさと地球環境が持続的に調和した社会を将来にわたって実現していく為に、原材料調達から循環・廃棄までのすべてのプロセスにおいて、気候変動、天然資源の枯渇、生物多様性の減少、環境汚染など、環境を取り巻く課題に取り組み、持続的成長と社会課題の解決の実現に貢献します。

2. 本方針の適用範囲

住友ゴムグループ環境方針(以下、本方針)は、私たちのすべての役員および従業員並びに私たちが管理する施設に適用されます。また、私たちは全てのビジネスパートナーに対しても本方針を支持することを期待し、サプライヤーに対しては、本方針の理解および遵守を期待します。

3. 国際規範の尊重

私たちは、事業活動において各国・地域における法規制の順守はもとより、国際的な環境基準を踏まえて行動します。さらに、国連の持続可能な開発目標(SDGs)をはじめとする国際的な合意を重視し、サステナビリティに関する国際的なイニシアチブに賛同します。

4. 環境デューデリジェンスの実施

① 取り組み体制

本方針は、当社サステナビリティ担当役員が遵守・実施状況を監督する責任を負います。また、環境課題を含むグローバルなサステナビリティ活動の重要課題の方針決定、情報共有および進捗状況の確認を目的として、「サステナビリティ推進委員会」を定期的に開催します。同委員会の報告・審議事項は取締役会へ報告し、サステナビリティ課題について取締役会による監督を行います。日々の環境への取り組みは、サステナビリティ推進委員会および環境担当部門が中心となり、グループ全体の関係各社、各部門と連携して推進します。

住友ゴムグループ

② 自然環境への対応

私たちは、自社の事業活動、サプライチェーンおよびビジネス上の関係における環境への依存と影響を特定し、リスクと機会を評価、管理する取り組みを進めていきます。私たちが環境への負の影響を引き起こした、若しくはこれを助長したことが明らかになった場合には、適切な手段を通してその是正に努めます。

③ 研修・教育

私たちは、役員および従業員が本方針を理解し、本方針に則った行動が実践されるよう、教育を実施していきます。

④ 情報公開

私たちは、本方針の運用状況を継続的にモニタリングし、必要に応じて改善していきます。TCFD、TNFD などの国際的な開示フレームワークを参照した情報開示を進め、第三者検証を実施しながら当社ウェブサイト、統合報告書、およびその他のコミュニケーション手段を通じて、本方針の浸透に向けた取り組みの進捗状況・環境への取り組みを定期的に開示します。

2024年12月16日
住友ゴム工業株式会社
代表取締役社長 山本 悟

